

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告(対象：市内24小学校5年生1,417人・市内11中学校2年生1,285人)

〔R6年度課題〕
 〔小学校〕 体の柔らかさ、粘り強さ、体育以外の総運動時間
 〔中学校〕 体の柔らかさ、粘り強さ、すばやさ、体育以外の総運動時間

〔R7年度取組み〕

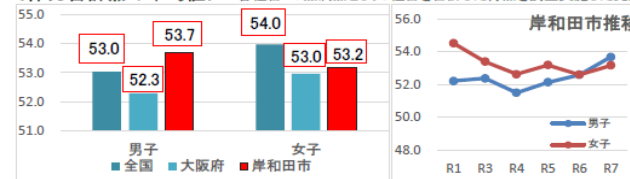
- 子どもたちの運動課題に即した楽しい体育の授業づくり … 専門家による授業改善指導、実践交流、スポーツ庁資料活用
- 体育授業以外での運動機会の設定 … スキップロープチャレンジ
- 児童生徒の実態把握、体力課題の共有 … 体力向上支援委員会、府体力向上事業活用



【小学校】全国及び大阪府との比較

＜体力合計点の平均値＞

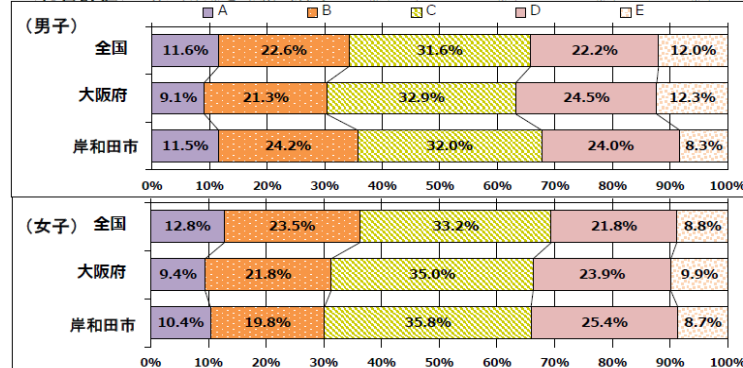
各種目10点満点とし、8種目を合計した得点を調査実施した児童数で除した数値



・男子の平均値は府より1.4ポイント高く、全国より0.7ポイント高い。
 ・女子の平均値は府より0.2ポイント高く、全国より0.8ポイント低い。
 令和6年度の全国との差は1.3ポイントあり、差は0.5ポイント縮まった。

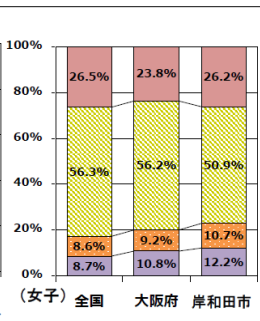
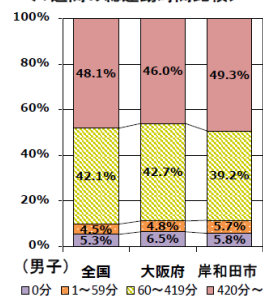
＜総合評価＞

体力合計点を5段階で評価。A:65点以上、B:58-64点、C:50-57点、D:42-49点、E:41点以下

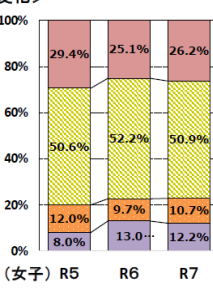
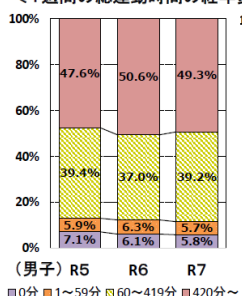


・男子は、全国と比較して上位層(A, B)が1.5ポイント高く、下位層(D, E)が1.9ポイント低い。
 ・女子は、全国と比較して、上位層(A, B)が6.1ポイント低く、下位層(D, E)が3.5ポイント高い。

＜1週間の総運動時間比較＞



＜1週間の総運動時間の経年変化＞

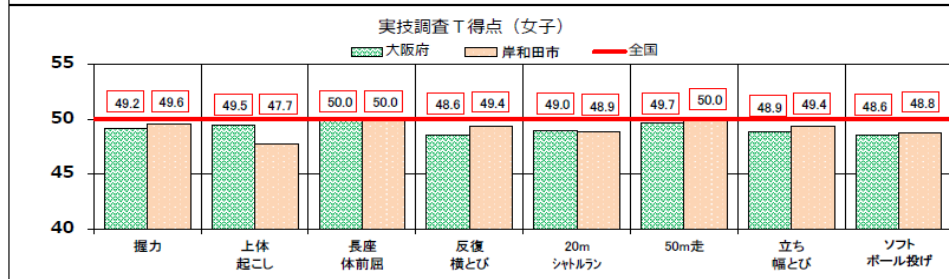
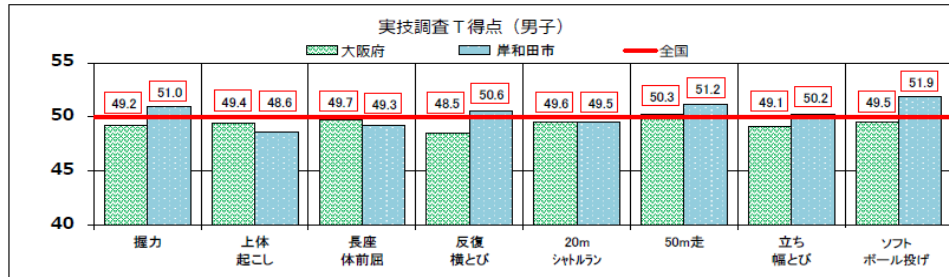


・令和7年度の結果より

【男子】1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、府よりも0.2ポイント高く、全国よりも1.7ポイント高いが前年度より0.9ポイント低くなっている。
 1週間の総運動時間が420分以上の児童の割合は、府よりも3.3ポイント高く、全国よりも1.2ポイント高い。

【女子】1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、府よりも2.9ポイント高く、全国よりも5.6ポイント高い。
 1週間の総運動時間が420分以上の児童の割合は、府よりも2.4ポイント高く、全国よりも0.3ポイント低い前年度より1.1ポイント高くなっている。

＜各種目のT得点＞ 全国平均値を50として、大阪府と岸和田市の相対的な位置を示したものを



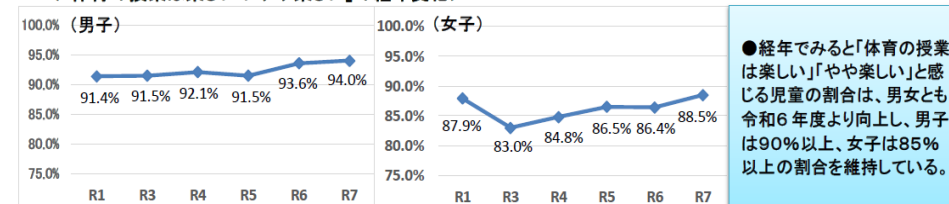
・全国を上回った種目・・・男子「握力」、「反復横とび」、「50m走」、「立ち幅とび」、「ソフトボール投げ」
 ・府を上回った種目・・・男女「握力」、「反復横とび」、「50m走」、「立ち幅とび」、「ソフトボール投げ」
 ・府を下回った種目・・・男女「上体起こし」、「20mシャトルラン」、男子「長座体前屈」

＜1週間の総運動時間に対する体力合計点の平均＞

	男子			女子		
	全国	岸和田市	地域クラブ未所属割合	全国	岸和田市	地域クラブ未所属割合
全体	53.0点	53.7点		54.0点	53.2点	
0～60分未満	44.0点	46.2点	25.5%	48.5点	48.0点	38.5%
60～420分未満	49.9点	51.6点	49.6%	53.3点	53.8点	47.4%
420分以上	57.6点	57.3点	24.8%	59.1点	57.7点	14.0%

●男子は1週間の総運動時間が60分未満の児童の体力合計点が全国より高い。
 ●女子は1週間の総運動時間が60～420分未満の児童の体力合計点が全国より高い。

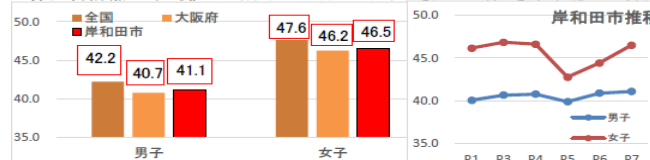
＜「体育の授業は楽しい+やや楽しい」の経年変化＞



●経年でみると「体育の授業は楽しい」「やや楽しい」と感じる児童の割合は、男女とも令和6年度より向上し、男子は90%以上、女子は85%以上の割合を維持している。

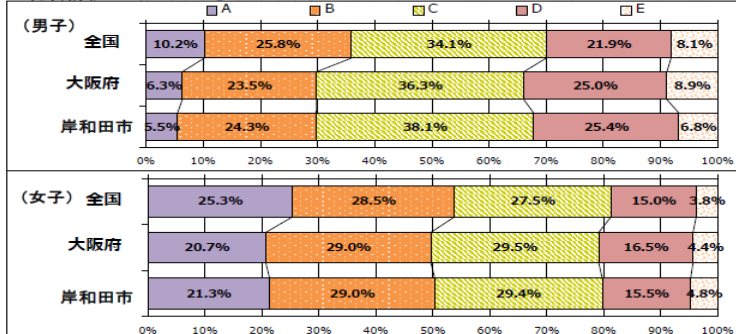
【中学校】全国及び大阪府との比較

＜体力合計点の平均値＞ 各種目10点満点とし、8種目を合計した得点を調査実施した生徒数で除した数値



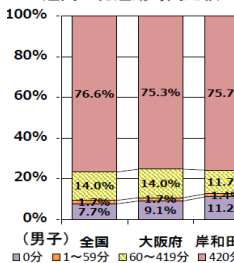
岸和田市推移
 ・男子の平均値は府より0.4ポイント高く、全国より1.1ポイント低い。
 ・女子の平均値は府より0.3ポイント高く、全国より1.1ポイント低い。
 令和6年度の全国との差は3ポイントあり差は1.9ポイント縮まった。

＜総合評価＞ 体力合計点を5段階で評価。A:57点以上、B:47-56点、C:37-46点、D:27-36点、E:26点以下

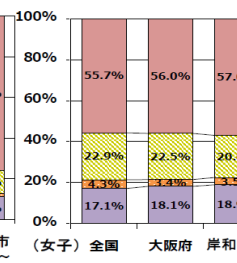


・男子は、全国と比較して、上位層(A, B)は6.2ポイント低く、下位層(D, E)は2.2ポイント高い。
 ・女子は、全国と比較して、上位層(A, B)は3.5ポイント低く、下位層(D, E)は1.5ポイント高い。

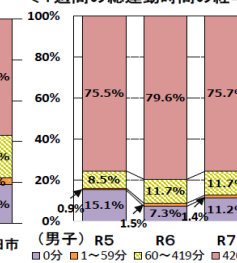
＜1週間の総運動時間比較＞



＜1週間の総運動時間の経年変化＞

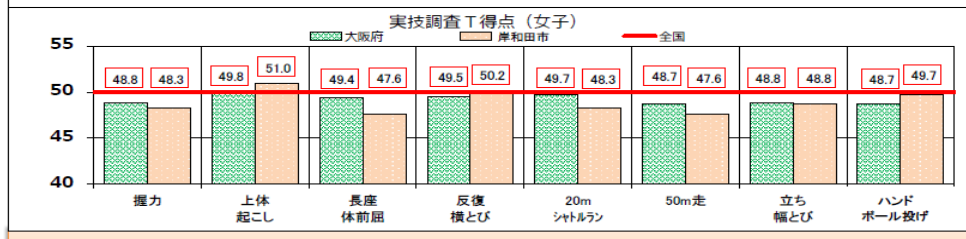
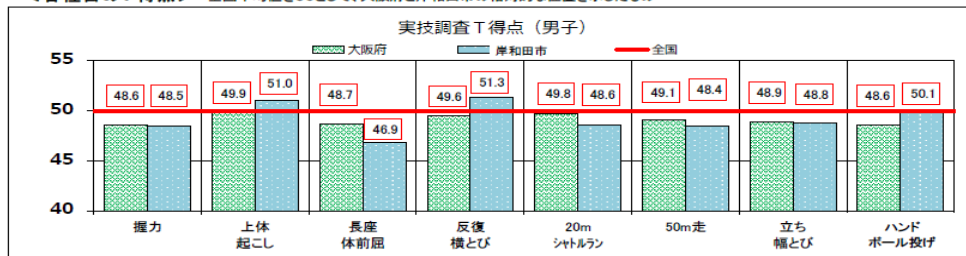


＜1週間の総運動時間に対する体力合計点の平均＞



・令和7年度の結果より
【男子】1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は、府より1.8ポイント高く、全国より3.2ポイント高い。
 1週間の総運動時間が420分以上の生徒の割合は、府よりも0.4ポイント高く、全国よりも0.9ポイント低い。
【女子】1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は、府より0.9ポイント高く、全国より1ポイント高い。
 1週間の総運動時間が420分以上の生徒の割合は、府より1ポイント高く、全国より1.3ポイント高い。
 また、経年で見ると60分未満の生徒は減少傾向、420分以上の生徒は増加傾向にある。

＜各種目のT得点＞ 全国平均値を50として、大阪府と岸和田市の相対的な位置を示したもの



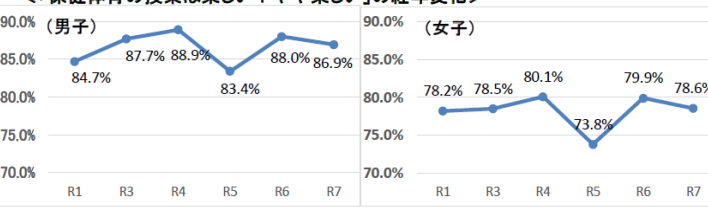
・全国を上回った種目・・・男女「上体起し」、「反復横とび」、男子「ハンドボール投げ」
 ・府を上回った種目・・・男女「上体起し」、「反復横とび」、「ハンドボール投げ」
 ・府を下回った種目・・・男女「握力」、「長座体前屈」、「20mシャトルラン」、「50m走」、男子「立ち幅とび」

＜1週間の総運動時間に対する体力合計点の平均＞

性別	男子			女子		
	全国	岸和田市	運動部・地域クラブ未所属割合	全国	岸和田市	運動部・地域クラブ未所属割合
全体	42.1点	41.1点	-	47.5点	46.5点	-
0~60分未満	32.1点	41.0点	57.9%	39.0点	39.2点	56.0%
60~420分未満	36.9点	37.1点	33.7%	43.6点	42.6点	39.0%
420分以上	44.4点	42.6点	8.5%	52.8点	51.3点	4.9%

●男子は1週間の総運動時間が60分未満の生徒の体力合計点が全国より高い。
 ●女子は1週間の総運動時間が60分未満の生徒の体力合計点が全国より高い。

＜「保健体育の授業は楽しい+やや楽しい」の経年変化＞



●男女とも、令和7年度は令和6年度より「体育の授業は楽しい」「やや楽しい」と感じる生徒の割合は下がったが、男子は85%以上、女子は75%以上を維持している。

【考察】

- ・小学校においては上体起しが全国と比べると低い値であるが、それ以外の種目については全国と同等もしくは上回る結果となっている。
- ・中学校においては握力、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走が全国と比べると低い値であるが、体力合計点では向上傾向にあり、府を上回る結果となっている。
- ・運動機会が少ない児童生徒の体力合計点の平均が全国の値と同等もしくは超える結果が出ており、体育の授業で体力の向上が一定保障されていることがうかがえる。

【今後の方針】

- ・子どもたちの体力課題に正対した有効な指導方法、また幼小中の発達段階に応じた指導方法を専門家から学び、子どもたちへの指導に活かす。
- ・運動機会の少ない児童生徒（運動部・地域運動クラブに所属していない児童生徒）の1週間の総運動時間に注目し、運動時間の増加を図る。
- ・体力向上支援委員会で課題に対しての取組みを検討し、体力向上のPDCAサイクルを意識した取組みを進める。